

地域医療連携だより

特別号
R6.11

長浜赤十字病院 地域医療連携課
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7
TEL0749-68-3314
FAX0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
地域災害医療センター
滋賀県地域がん診療連携支援病院
滋賀県基幹原子力災害拠点病院



晩秋の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

『切らない乳がん治療』 早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法を開始します！

当院では、早期乳がんに対する新しい治療法として、ラジオ波焼灼療法 (Radiofrequency Ablation Therapy : RFA) を開始いたします。この治療法は、乳房を切除せずに外見を保ちながら治療できる画期的な方法です。

2023年7月7日に、厚生労働省から承認され、同年12月より保険診療として行えるようになりました。当院は、2024年10月に日本乳癌学会から乳がんRFAの実施医療機関として認定され、11月より治療が可能になりました。2024年11月時点では、滋賀県内でこの治療を行うことができるのは、当院を含めて2施設のみとなっています。

治療の対象は、基本的に乳がんの腫瘍径が1.5cm以下で、腋窩リンパ節転移および遠隔転移が認められない限局性乳がんの患者さんです。詳細は診察時に説明させていただきます。

治療方法としては、まず全身麻酔下でセンチネルリンパ節生検を行い、超音波画像誘導下に直径1~2mmの電極針を刺入し、約472kHzのラジオ波電流を流して約70度で約10分加熱し腫瘍を焼灼します。施術時間は1時間程度、入院期間も2~3日と短期間です。これまでの臨床試験から、RFAは従来の乳房温存手術と同等の根治性を持ち、低侵襲であるため施術後の痛みや出血も少なく、高い整容性を保てる事が確認されています。

施術後は、従来の乳腺部分切除術と同様に放射線療法は必須で、必要に応じて薬物療法を行います。また、腫瘍が残存しているかを確認するため、放射線治療後に組織生検を受けることが必須になります。検査結果で腫瘍残存が認められた場合には追加の手術が必要となります。

当院の乳腺外来では、RFA認定医がRFAと従来の標準的な手術療法について丁寧に説明し、患者さんが十分な理解と納得の上で最適な乳がん治療を選択できるようサポートさせていただきます。今後も患者さんとそのご家族とともに乳がんの根治を目指していきたいと思っておりますので、どうぞお力添えをよろしくお願いいたします。



日本乳癌学会乳腺専門医
ナカムラ トモアキ
中村 誠昌

